

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	「平戸“光と食”の祭典」事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	平戸市	企画財政課	峯野 恵美	0950-22-4111(2336)
事業期間	開始年	平成 28 年 4 月 1 日 (1 年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[負担金]			
実施期間	(開始日)平成 28 年 10 月 22 日 (完了日)平成 28 年 10 月 31 日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	市外の観光客、市民		平戸の秋を彩る旬の食材と日本最大のウォータープロジェクトマッピングの融合を活かし「光」「食」を通じ平戸の文化と歴史を発信することで観光施設の集客、交流人口の拡大を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	①ウォータープロジェクトマッピング テーマ：タツノオトシゴ 開催日：平成 28 年 10 月 22、23、24 日 開催場所：平戸港交流広場 上映内容：海中より高さ 18m の扇方噴水カーテンに映像を投射する。各日、午後 6 時から午後 9 時までの間、10 分間隔で 1 日 8 回上映を行う。 ②食フェスタ 開催日：平成 28 年 10 月 22～24 日 開催場所：平戸港交流広場 開催時間：午後 6 時から午後 9 時 内 容：平戸の食材を活かした食べ物と飲み物がプロジェクトマッピングを観ながら楽しめる。メニューは平戸和牛串焼き、ウチワエビ塩焼き、天ぷら、魚ロック、川内かまぼこ、イカ焼き、ひおうぎ貝焼き、さざえつぼ焼き、地酒。 ③ハロウィンナイト 開催日：平成 28 年 10 月 31 日 開催場所：平戸城 開演時間：午後 7 時から 内 容：1 日限定のハロウィンナイト。仮装したお化けが登場し、参加者がお化け退治を行った。			

事業実績シート

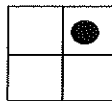
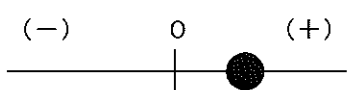
	<p>④平戸くんち</p> <p>開催日：平成 28 年 10 月 24～27 日</p> <p>開催場所：平戸市内各地</p> <p>内 容：さまざまな「くんち行事」を開催した。</p>
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<p>(事業開始の背景)</p> <p>平戸市の宿泊観光客は、年々減少傾向にある。その背景として、西九州道の延伸により利便性が向上したが、その分、滞在時間が短くなり、周遊性や夜間等の魅力向上が必要となっている。</p>
	<p>(経緯・現状)</p> <p>長崎県においてJRグループを利用したデスティネーションキャンペーンが開催されるにあたり、その一環として、旅行会社とタイアップした夜型の観光イベントを開催することによる宿泊観光客や日帰り観光客を増やすことで、低迷する平戸観光を向上させる。</p>

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算
事業費（円）		0	0	6,997,200
(財源内訳)	国庫支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			3,997,200
	市町振興共同事業助成金			3,000,000
	一般財源			0

成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	集客数	地域活性化の指標として 適当	人	目標				5,000
					実績				4,596
					目標達成率(%)				91
②				目標					
				実績					
				目標達成率(%)					

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 平戸市の主要産業である観光業の大きな目玉とした事業であるため、観光客数、宿泊者数に多大な影響を及ぼすことになる。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した		天候に左右される事業であり、悪天候が1日あったため、予定していた参加者数に影響があった。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った				
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地はない		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地がある		長崎DCキャンペーンの一環として行われた事業であることから次年度については、特段の予定がないため。		
実施予定 期 日					
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能		ウォータープロジェクションマッピングを常設できる環境が整っていない。			
<input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能					
<input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない				
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み		既に事業者と経費については折半しており、新たな歳入を確保することは困難。			
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能					
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は困難					

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input checked="" type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	今回の事業による、新たな平戸の魅力創出のきっかけはできたものの、事業費が大きく、事業継続は困難である。しかしながら、タイアップした旅行社とは、宿泊対策を継続的に支援することになり、事業終了後も、市内の宿泊施設にはツアー等の商品造成による宿泊客増に努められている。				